

# 学者村たより

創刊準備特別号

発行人：浅田 敏

編集人：学者村たよりPT

例年なら文字通り冬籠りに入る学者村 景観を考える会。しかし今年は「長い冬籠り、何もしないのはもったいないっ！」……と気短か男の一言から、「公園プロジェクト」が生まれ動き始めました。どんな構想を以って動き出そうとしているのか、ここでご案内します。

## ★山の家前広場が「憩いの広場」にイメチェン!

……空に向かって飛ぶ子どものはしゃいだ表情、見守る大人からもこぼれる笑顔……やすらぎの場所に手作りのベンチやモニュメント……

「夏の散歩には、木陰が助かるよ」「散歩していると、ちょっと一休みできるベンチが欲しいのよね」「健康のため夫婦でウォーキングしてるんだけど、トイレが無くてねえ……。」「ベンチで休んでいたら、知らない方もご挨拶。犬友達も増えました。「冷たい水が飲みたいな」

## ★山の家前に〈掲示板〉新設

\*今後のイベント予定がわかれば「うっかり見過ごし」なくなるね……

\*会の活動計画や活動の実際を紹介……

「いろんなことやってたんだあ」

\*各種イベントをかなり先まで予告……

「今度は子どもと一緒に来られるかなあ」

## 出来ることから、とにかくスタートさせませんか

### ★憩いの広場を作っちゃえ!

ベンチやモニュメントを作るイベントを、GWに企画したら、みんなの手作り広場ができて、愛着を持って貰えるのでは?

### ★トランポリンを山の家前の広場へ移す

孫：「青空に向かって飛ぶぞ!」 じい：「トランポリンで飛ばしておけば休める(笑)」

### ★みんなが集まる所には、トイレと水飲み場が不可欠

……トイレのない空間に長居はできない……

「山の家が閉まっているとトイレが使えない!」

「仮設トイレは水が流れないし……でもトイレには行きたいし……」

「孫はトランポリンでいつまでも遊びたがるけど、私は……暑いけど水分控えなきゃ!」

「仮設トイレの場所、車道から見えず。ステップも高くて、なんか使いにくいのよね」

## 「学者村たより」の発行にあたって

学者村の景観を考える会 代表 浅田 敏

「木が伸びすぎて……」、「毎年同じことを要望しているが……」平成14年夏、住民懇談会での話題から、住民、管理者、財産区で打開策を話し合うとスタートしてから9年、会の活動がマンネリ化、初期の目的から風化し始めてきました。

伸びすぎた針葉樹を伐採することの是非、景観、眺望、倒木、日照不足、自然保護、資源価値等々、各々価値観の違いは明白で、課題は一朝一夕では答えは出ません。しかしながら年々、数十センチ伸びる樹木に整備が伴わなければ、別荘地の荒廃が着実に進んでいくことは間違いありません。

改めて会の目的、活動を再認識し、又皆さんに理解と協力をお願いしようと「学者村たより」を発刊することになりました。

“出来ることからやってみる”をモットーに会の活動や案内、報告、話題等をタイムリーにお知らせ出来るように、隔月程度、活動に沿った発行を予定しています。また、皆様からのタイムリーな情報発信にもできるだけ紙面を割きたいと考えています。

尚、会のホームページにも随時情報を掲載してありますので、そちらも併せてご覧ください。

## ★テニスコート跡地が多目的イベント広場に変身

遠くアルプスが望める明るい山の上公園、ふと視線を移すとイベント広場の広がり  
テニスコート跡地なら、車道を行く車や散歩の人からも様子がわかるね  
5月の連休までに使えるようになってるかな。お披露目イベントはお花見だね!

### ★「学者村祭」や「収穫祭」はイベント広場でやろう!

ミニコンサートやバザーなど今までやったことのないこともできそうだね。



### ★イベント広場に簡易ステージでもあればここを中心に展開しやすい

将来的には常設のステージ(ウッドデッキ)が望ましいけど、予算がなければ土盛りするか? ミニコンサートやバザーなど今までやったことのないこともできそうだね。

### ◆◆樹林整備支援隊出動◆◆

12月7日、二期の上の方では雪が残り、寒い一日でしたが、朝からの活動で体はポカポカ。持ち帰った薪でお家もポカポカ。おまけに山もほんの少しだけ、すっきりしました。



### 公園プロジェクトでの検討事項

人的な参加が基本であるが、資材や重機は町の協力がなければ成り立ちません。

アイデアをまとめ、次回は町の担当者を交えて話し合えるように準備中です。すでにプロジェクトチームからある程度の予算化を町当局にお願いしています。

「学者村祭」はイベント広場での実施が可能か? 電気や水道が欲しい等、予算上の問題があります。しかし、予算がなくても工夫すれば可能なこともあるはず……。そこで、〈学者村祭実行委員会/6月〉までに企画を検討し、村祭実行委員会に具体的な提案をすることでイベント広場での学者村祭り開催に向けて検討中です。

### ……………《訂正》……………

過日お送りした「学者村の景観を考える会 会報No11」にてお知らせした来年度の行事予定に下記の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

(誤) H24. 4. 29 (土)

(正) H24. 4. 29 (日)

(誤) H24. 4. 30 (日)

(正) H24. 4. 30 (月) 振替休日

(誤) H24. 10. 7 (月) 体育の日

(正) H24. 10. 7 (日)

これから信州はどんどん寒くなり、地面も凍結します。でもメンバーの気持ちは寒い冬も凍りません、きっと。

### ▼学者村の景観を考える会WEB▼

<http://roadie.heteml.jp/gakusha/>

### ■メールでのご要望/ご質問等は上記のサイトからどうぞ

季節の話題、イベント告知など、皆様からの旬な情報発信をお待ちしております。掲載ご希望の案件がある方はメール、または下記事務局へ直接お電話でお気軽にご連絡ください。

学者村たより 編集部 学者村の景観を考える会事務局

(4期 青山) 電話: 0268-68-2359

